

甲賀の10総合型スポーツクラブ連携

相互に会員受け入れへ

多彩なニーズに対応

甲賀市内に十クラブある総合型地域スポーツクラブが連携し四月から相互に会員を受け入れることを決めた。市全域でクラブがネットワークをつくるのは、全国的にも例のない取り組みという。

同市は総合型地域スポーツ盛んで、クラブ数は県内各市町で最も多い。営状態は厳しく、指導

者を集めるのも大変という。そこで各クラブの得意分野を生かしながら、多彩な会員のニーズに応えようと連携を決めた。

一定の規模を持つ八クラブが受け入れ可能な約六十教室を用意。十クラブいずれかの会員なら、他クラブの教室も年間費千円で参加できるようにした（一部は別途参加費必要）。三月の会員募集から利用を呼び掛ける。

同市内のクラブ連絡協議会事務局を務める「こうかさすけくらぶ」の大原克彦理事長

（55）は「うちは夜間の教室が中心だが、昼の空いた時間にスポーツをしたという会員もいる。市民が少しでもスポーツに参加しやすい環境をつくりたい」と話す。

（後藤茂典）

開交
公取
取締まり

（18日・県警交通指導課）

【速度】野洲市内・県道（午後）